

資料 3 「海老江加茂神社秋季祭礼の曳山行事」のリーフレットが完成しました！

射水市有形民俗文化財「海老江加茂社祭礼曳山車」と海老江曳山行事全体を紹介するリーフレットが完成しました。これで市内の曳山リーフレット 3 部作が全て刊行となりました。県内最大 20 基をもつ本市の曳山行事の文化財価値の周知啓発と保存継承への意識高揚を図ります。

【概要】

- 内容** 曳山行事の歴史、各曳山の構造や特徴、巡行見どころ
規格 A4判 4ページ (二つ折り) 5,000部
配布先 新湊地区の各コミュニティセンター、クロスベイ新湊、新湊博物館など



【表紙】



【見開き】



【放生津八幡宮祭の曳山・築山行事】
R3 刊行



【大門曳山行事】R4 刊行

海老江加茂神社秋季祭礼の曳山行事

海老江の曳山行事は、射水市海老江地区にある加茂神社の秋季祭礼（秋分の日）で行われます。氏子町である東町・中町・西町の3基の曳山が、昼は花山（花傘山）、夜は提灯山となって、威勢の良い若衆の掛け声と木遣り唄、賑やかな囃子とともに巡行します。同じく氏子町の浜側では獅子舞が行われます。

祭礼の舞台 海老江

海老江地区は、射水市東部の富山湾沿いに位置する港町です。エビが多く獲れた入江があったことが地名の由来と伝えられます。

海岸付近を東西に走る旧浜往來に沿って集落が形成され、延徳3年（1492）にこの地を訪れた冷泉為広の日記に、「エヒエ」の地名が記されています。江戸時代後期には、北前船交易や売業によって経済成長を遂げ、明治時代以降は、北洋漁業に転じる住民が増えました。

海老江の曳山

海老江曳山の創設時期は明らかではありません。大宝寺の古文書には、西町が天保12年（1841）頃、中町が天保15年（1844）に曳山を新調したことが記され、東町の王様人形頭部に天保13年（1842）年の墨書銘があるため、江戸時代の後期には行われていたと考えられます。

海老江の曳山は、中央に立てた心柱を、ダシ（標旗）と花傘で飾った「花傘山」で、下から順に「地山」「下山」「中山」「上山」で構成します。曳山の形状や提灯山の姿、勇壮で賑やかな曳き方や曳山囃子など、放生津曳山の影響が見られる曳山です。



王様と前人形

王様は、各町の守護神として曳山に乗せる等身大の飾人形です。

前人形は、王様と対になるカラクリ人形です。軽快な囃子に合わせて愛らしい所作を演じます。

西町の前人形「唐猿童子」は、名古屋の人形師玉屋庄兵衛の作であり、北陸地方では珍しい、樋を突き出した本格的なカラクリ人形です。

築山

曳山巡行前日の夜、各町で宵祭りが行われます。公民館を飾り付けて王様と前人形を安置し、供物を供えて祀ります。これを「築山」と呼びます。宵祭りでは、人形に神を迎える入魂式や、築山に奉納するお神楽の演奏などが行われます。



海老江加茂神社

主祭神として賀茂別雷神を祀っています。宝暦10年（1760）、古くから恵比須を祀る産土社があったこの地に新たに下村加茂神社の分霊が勧進されました。

海老江地区のランドマークである夫婦松や、北前船が運んだ瀬戸内産御影石で作られた石垣・狛犬に加え、多くの船絵馬なども伝えられています。



東町

ダシ：軍配
王様：三番叟
前人形：唐子遊び
安政4年（1857）に四方町から購入した曳山です。鏡板や欄間の極彩色彫刻、各部に散りばめられた鍍金具が目目を惹きます。



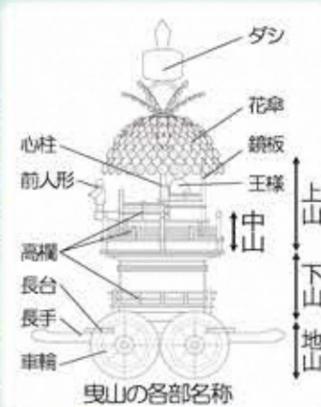
中町

ダシ：振鼓
王様：狸尺
前人形：唐子懸垂回転
鮮やかな朱塗りの高欄や、中山を廻る牡丹極彩色彫刻、鏡板の龍虎、たくさんの唐子が遊ぶ上山の欄間彫刻が目どころです。



西町

ダシ：打出の小槌
王様：恵比須
前人形：唐猿童子
見事な欄間彫刻は、井波の初代大島五雲の作と伝わります。現在の放生津常盤町曳山は、この曳山を基にして再建されました。

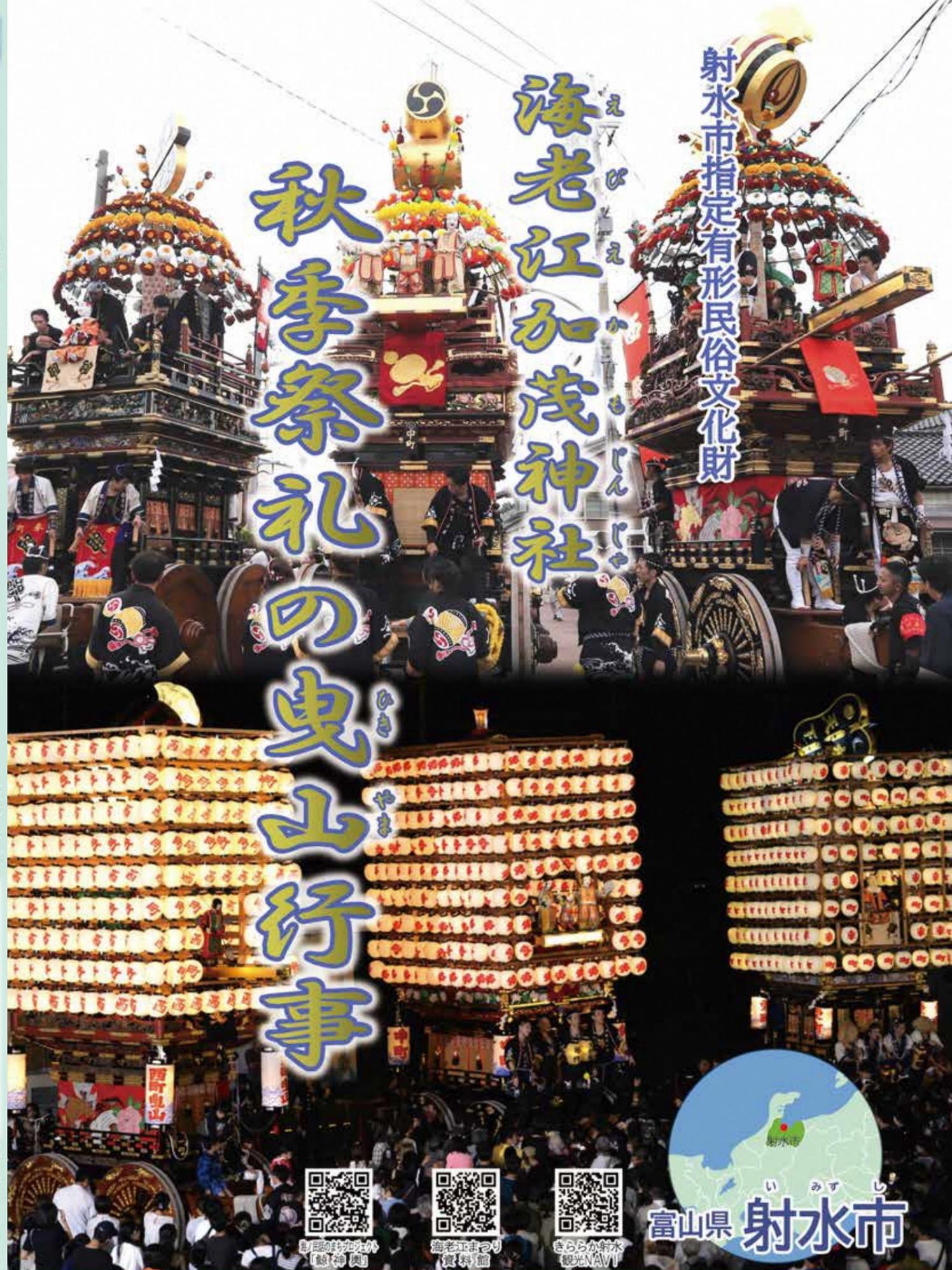


鯨神輿
海老江加茂神社の神輿は、「鯨神輿」と呼ばれています。この神輿は、江戸時代の嘉永2年（1849）に、海老江の緒元清と衛門と船頭の彦兵衛の二人が同じ夢のお告げを受けて海の底に沈んだ大きな鯨を見つけ、その鯨を売った代金の一部で作ったものと伝えられています。

木遣り唄

海老江の曳山は、「唄う」曳山です。長台に乗った若衆が、木遣りを唄うと、他の曳き子が両手を交互に振り上げて合の手を入れます。囃子方は落ち着いた曲を演奏し、全員が一体となって祭りを盛り上げます。

木遣り唄は、漁業や廻船業に従事した船乗りの作業唄であり、明治・大正時代に北海道に出漁した漁師によって伝えられたといわれます。



秋季祭礼の曳山行事

海老江加茂神社

射水市指定有形民俗文化財



富山県 射水市



お問い合わせ先 射水市教育委員会 生涯学習・スポーツ課 TEL:0766-51-6637 FAX:0766-51-6663 千939-0294 富山県射水市新開発410番地1 E-mail: bunkazai@city.imizu.lg.jp

- 花山巡行路
 - 提灯山巡行路
 - ①~⑭ 見どころ
 - 公共トイレ
 - 駐車場 (臨時駐車場もあります)
- ・行事の流れは、おおよその実施(通過)時間帯を記したものです。
- ・花山の巡行路には、海老江加茂神社を挟んで東町方面から進む「東回り」と西町方面から進む「西回り」があります。
- ・東回りと西回りの巡行路は毎年入れ替わりとなります。
- ・巡行路や時間帯は、天候その他の理由により変更される場合があります。

海老江加茂神社秋季祭礼(曳山巡行)当日の流れ

花山(東回り)【西回りは西町西端】	提灯山(東回り)【西回りは西町西端】
8:00 海老江加茂神社(曳山お祓い)	17:50 海老江こども園西(提灯山出発)
9:00 花山出発	18:10 東町東端【西町西端】
9:40【西町西端】	19:00 西町西端【東町東端】
9:50 東町東端	19:30 海老江コミュニティセンター 見どころ(提灯山曳き別れ)
10:10 東町【東明西町西端】 見どころ	20:20 町内曳き
10:50 東明東町東端	23:00 町内曳き終了
11:30 海老江コミュニティセンター(花山曳き揃え)	
13:50【東明東町東端】	
14:00 西町西端	
14:10 東明西町西端 見どころ	
14:30【東町】 見どころ	
14:50【東町東端】	
15:30 海老江こども園南【海老江加茂神社】(花山曳き別れ)	

海老江加茂神社秋季祭礼

7:30 例大祭(海老江加茂神社拜殿)
浜舞獅子舞清祓
8:00 神輿出御
浜舞獅子舞(浜開・浜開新町地内)
14:00 神輿還御・還御祭
20:00 成就祭



海老江加茂神社から海老江コミュニティセンターまで 250m 徒歩約 3分
 海老江加茂神社から東町公民館まで 600m 徒歩約 8分
 海老江加茂神社から浜開公民館まで 850m 徒歩約 12分

